



令和7年4月24日

西久保遺跡出土木簡の新たな文字解釈

～「岑越駅」の文字資料～

記

西久保遺跡出土の2号木簡について、保存処理後に赤外線画像の撮影・分析を行い、新たに「岑越駅」の文字が判明しました。岑越駅は、古代の信夫郡に置かれた駅家※1です。10世紀の『延喜式』※2には記述がありますが、書物以外では初めての文字資料です。2号木簡の年代は8世紀頃のため、岑越の地名の使用開始は約100年さかのぼります。

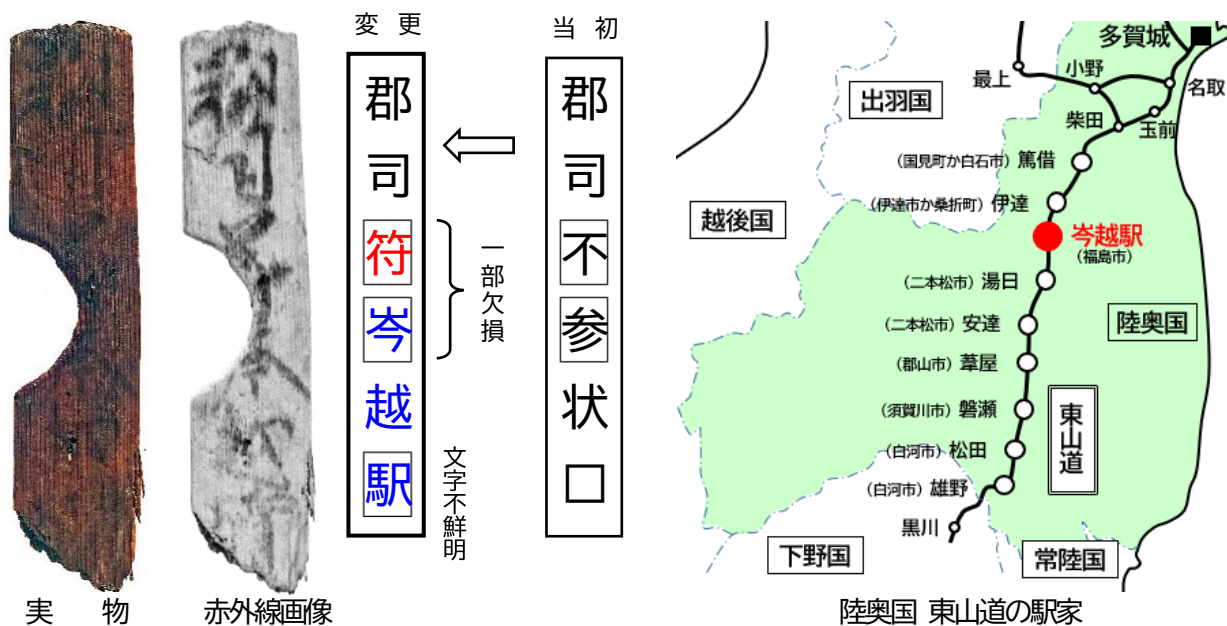
※1駅家 馬を利用した、古代の官道沿いに整備された交通施設。

※2延喜式 平安時代の法令集。全国の駅家の名称や馬の数を記述。905-927年編纂。

1. 2号木簡の新たな文字解釈

文 字	郡 司 符 岑 越 駅 の6文字（既2、新4）※欠損・不鮮明のため3字は推定		
読 み	ぐんじ みねこし えき に ふす		
内 容	郡司が岑越駅に送付した書状。内容は不明		
寸 法	長さ13.0cm、幅2.7cm、厚さ0.3cm、樹種マツ		
年 代	8世紀頃	出土場所	水場遺構から出土

※3符 古代の文書の宛先表現。上位機関から下位機関で用いられる。「㊦から㊦宛て」



2. 新解釈による遺跡の評価

○役所機能、祭祀機能、交通機能（駅家）を兼ね備えた複合的な機能を持つ遺跡

担当：文化振興課 文化財保護活用係
課長 今野 係長 新井
電話 024-525-3785（直通）

2号木簡の新たな文字解釈 ～「岑越駅」の文字資料～

記者配布資料



実物



赤外線画像

郡

司

符

岑

越

駅

一部欠損

文字不鮮明

○西久保遺跡の2号木簡について

みねこしえき

新たに「岑越駅」の文字が判明！

(保存処理後に赤外線画像を撮影分析した成果)

○木簡には6つの文字(既2、新4)

文字

郡

司

符

岑

越

駅

※欠損・不鮮明のため3字は推定

読み ぐんじ みねこし えき に ふす

内容 「郡司が岑越駅に送付した書状。内容は不明」

○年 代 8世紀頃

○出土場所 水場遺構から出土

2号木簡の新たな文字解釈 ～「岑越駅」の文字資料～

記者配布資料



実物



赤外線画像

郡
司

符

岑

越

駅

【岑越駅の木簡 で何がわかる？】

- 「^{みねこしえき}岑越駅」は信夫郡に置かれた^{うまや}駅家^{※1}の名前
※1 駅家…馬を利用した、古代の官道沿いに整備された交通施設

○書物以外では**初めての文字資料**

- 岑越駅は10世紀の書物『^{えんぎしき}延喜式』^{※2}に記述がある。
2号木簡の年代は8世紀頃のため、**岑越の地名使用開始は約1000年さかのぼる。**

※2 延喜式…平安時代の法令集。905-927年編纂。
全国の駅家の名称、馬の数を記述。

2号木簡の新たな文字解釈 ～「岑越駅」の文字資料～

記者配布資料



新解釈による遺跡の評価

- ① **役所機能** (有力者の居宅)
- ② **祭祀機能** (水場遺構)
- ③ **交通機能 (駅家)** を兼ね備えた複合的な機能を持つ遺跡

○令和7年度も発掘調査を実施。
引き続き調査・研究を進め、
遺跡の性格を総合的に判断